

町なか がんサロンのお知らせ

(がん治療後サバイバーの学習 & 交流の場)

- 日程
- ・平成28年1月24日(日) 13:30~16:00
 - ・平成28年2月14日(日) 13:30~16:00
(受付 13:15~)

場所 ホテルサンルートプラザ 福島

- ・がんの治療を終了した方(もしくは、もうすぐ治療を終えようとしている方)
- ・がんを克服された方で、ご自身の体験をお話してみたいと思う方
- ・患者会などに所属していない方で他の方々と交流を望んでいる方
- ・患者さんだけでなくご家族・知人・友人の方の参加も自由です

参加費無料 (30名まで)

資料準備の関係があり事前連絡をお願いします

(別添の申し込み用紙にて、ファックスもしくはメールでご連絡をお願いします。)

主催: 福島県立医科大学看護学部 三浦浅子(連絡先 024-547-1857)

長期生存がんサバイバーシップケアモデルの構築に関する研究班代表

後援: 福島県立医科大学附属病院臨床腫瘍センター

<主 旨>

がん治療を終えた患者様(がんサバイバー)は、外来通院の機会も減り、医療者との接点ももちにくいことがあります。手術後の失われた機能や抗がん剤治療後の副作用も続くことがあります。また、再発の不安もあります。アメリカなどでは、治療を終えたサバイバーを支援する「サバイバーシップケア」が盛んに行なわれています。研究班では、「サバイバーシップケア」のプログラムを作成し、【町なかがんサロン】の場で提供していきたいと思っています。平成27年度は2回開催しますが、平成28年度以降は、1年に3～4回開催していく予定です。

<ミニ学習会のテーマ>

1月24日:研究の説明・自分の治療の歴史を知ろう

2月14日:リラックスの方法を知ろう

～今後の予定～

化学療法や放射線療養の副作用、食事療法、免疫と栄養、仕事の続け方などについて、医師・看護師・栄養士の方々に講師をしていただき、ミニ学習会を続けていきたいと思っています。

<交流会>

患者さんやご家族の方々とが自由にお話をする場です。ご自身の闘病生活をお話したり、他の人々のお話を聞いたりすることができます。

<個別相談>

ミニ学習会、交流会が終了した後で、がん看護専門看護師等が個別相談を行ないます。

連絡先 福島県立医科大学 三浦浅子

電話・ファックス:024-547-1857

Eメール:amiura@fmu.ac.jp

添付用紙をお使いください



「町なか がんサロン」申し込み用紙

お名前	(ふりがな)	○印をつけてください
	()	ご本人 ご家族 ご友人
	()	ご本人 ご家族 ご友人
	()	ご本人 ご家族 ご友人

* ご連絡先 (どちらかをお書きください)

電話

メールアドレス

* 参加できる日()に○印をいれてください。

1日のみの参加、両日参加どちらも可能です。

() 平成28年1月24日(日)

() 平成28年2月21日(日)

* 連絡先: 福島県立医科大学看護学部 三浦浅子

電話(fax): 024-547-1857

Eメール amiura@fmu.ac.jp

メールの場合: 参加者氏名、連絡先、参加する日程をお知らせください。

町なか がんサロンのお知らせ

(がん治療後サバイバーの学習 & 交流の場)

日程・平成28年1月24日(日) 13:30～16:00
 ・平成28年2月14日(日) 13:30～16:00
 (受付13:15～)

参加費無料
(30名まで)

場所 ホテルサンルートプラザ 福島

- ・がんの治療を終了した方(もうすぐ治療を終えようとしている方)
- ・がんを克服された方で、ご自身の体験をお話してみたいと思う方
- ・患者会などに所属していない方で他の方々と交流を望んでいる方
- ・患者さんだけでなくご家族・知人・友人の方の参加も自由です

<内容>

1月24日:自分の病気や治療の歴史を知ろう

2月14日:リラックスの方法を知ろう

主催:長期生存がんサバイバーシップケアモデルの構築の研究班

代表 三浦浅子 (がん看護専門看護師)

後援:福島県立医科大学附属病院臨床腫瘍センター

参加ご希望の方は申し込みが必要です。

(別添の申し込み用紙にて、ファックスもしくはメールでご連絡をお願いします。)

連絡先:福島県立医科大学看護学部 三浦浅子

電話(fax):024-547-1857 Eメール amiura@fmu.ac.jp

交通アクセス



JR福島駅東口から徒歩7分
 福島西インター/飯坂インターから車で15分